



会議の冒頭、検討事項を指示する市長

市独自の福祉施策などを検討する全国屈指福祉会議が10月16日、市保健センターで開催されました。会議の冒頭、市長が各部会に検討事項を指示。内容は、来年度から始まる新たな健康インセンティブ事業で医療費を1億円抑制することや、障がい者1500人雇用を推進すること、既

存の制度のはざまで悩んでいる高齢者を把握するための「そうじゃ台帳」を整備し、見守り100%・孤独ゼロを目指すことなど。障がい者1500人雇用を推進するため、「障がい者支援部会」が新設されることも報告されました。会議には、大学や福祉関係者、市の幹部などが出席。

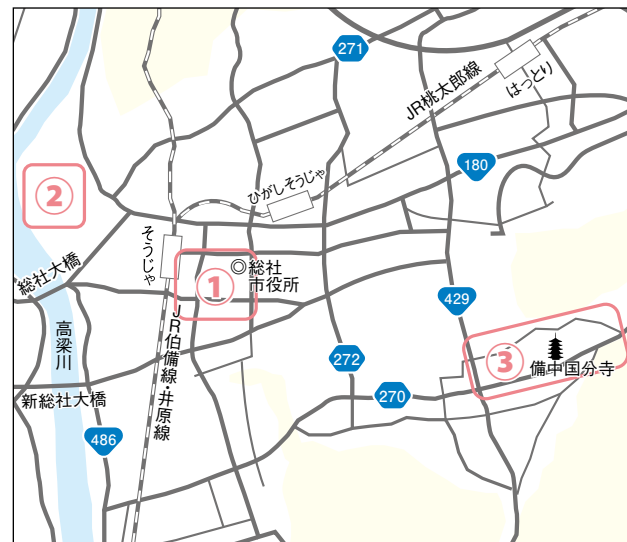
今後、有識者から出された意見を参考にして具体的な施策について検討し、来年1月に2回目の全国屈指福祉会議を開催予定。各部会からの具体的施策案をもとに、「福祉王国プログラム2018」を策定する予定です。



10月1日現在の就労者数は、1,034人。目標とする1,500人まであと466人。写真は、障がい者千人雇用センターに掲げられた就労者数を示すボード

健康生活のための環境整備

市内にウォーキングコース、ランニングコースを整備していきます。積極的に利用してください。



① ウォーキングコース（総社駅前）

100 mごとにプレートを立てて、歩いた距離が分かりやすい、駅前周辺を回る3 km コース

② ランニングコース（高梁川河川敷）

高梁川の風景と風を感じながら爽快地走ることができる3 km コース

③ ランニングコース（備中国分寺周辺）

サンロード吉備路を発着点とし、歴史が薫る吉備路を巡る5 km コース

参加事業所の募集

市内の事業所も“歩得”健康商品券事業に参加しませんか。参加店を市がPRします。参加内容は下記のとおり。詳しくは、健康医療課に問い合わせてください。

■商品券の利用可能な事業所に登録

市内にある事業所であれば、業種を問わず商品券利用登録事業所に応募できます

■独自サービスで市民の健康生活を応援しませんか

事業所ごとに独自のサービスを設定できます
例：歩数を計測した参加者に1品サービス

■参加者からモニターを募集

商品やサービス改善のために、市が参加者のなかからモニターを募集。評価内容を事業所にフィードバックします



歩くことで健康になろう



新しい健康インセンティブ事業

“歩得”健康商品券

（歩いて獲得！健康商品券）

来年1月
受付開始

来年度から、健康づくりに取り組む人をサポートしていくために、「“歩得”健康商品券」事業を始めます。この事業開始に合わせて、ウォーキングコースとランニングコースも整備します。

問い合わせ 健康医療課健康増進係（☎⑩ 8259）



1、歩く



2、貯める



3、使う

“歩得”健康商品券事業とは？

「歩く」ことを中心とした健康づくり施策です。歩数に応じたポイントを貯め、貯まったポイントを市内で使える商品券と交換することができます。

歩数は、市が貸し出す活動量計などを付けて計測。市内約20カ所に設けた専用の端末に活動量計をかざすことで歩数が記録されます。端末と一緒に設置しているタブレットで、貯まったポイントや歩数などを確認できます。

そのほか、健康診査の受診、健康づくり講座などに参加することでもポイントを貯めることができます。

また、健康づくりに関する情報やアドバイスを市のメールマガジンで配信し、生活習慣の改善をサポートします。

生活習慣改善のきっかけに、この事業に参加してみませんか。

◇ Point 1 ◇

歩いた記録や貯まったポイントは、タブレットで確認することができます。

◇ Point 2 ◇

オペレーターの栄養士が、個々に生活習慣の改善をサポート。市からのメールマガジンでアドバイス。

詳細は
広報紙
1月号に掲載

健康になつて商品券を獲得しよう